
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年4月24日

鹿児島湾 赤潮情報 No.2

[1] 4月23日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

調査全域で、有害種による着色域は確認されませんでした。
 有害種については、セラチム属が1~7cells/ml確認されたほかは、アモクマアサヤツヤツリマリーナは確認されませんでした。珪藻類は湾奥部は多く、湾中央部は少ない状況でした。

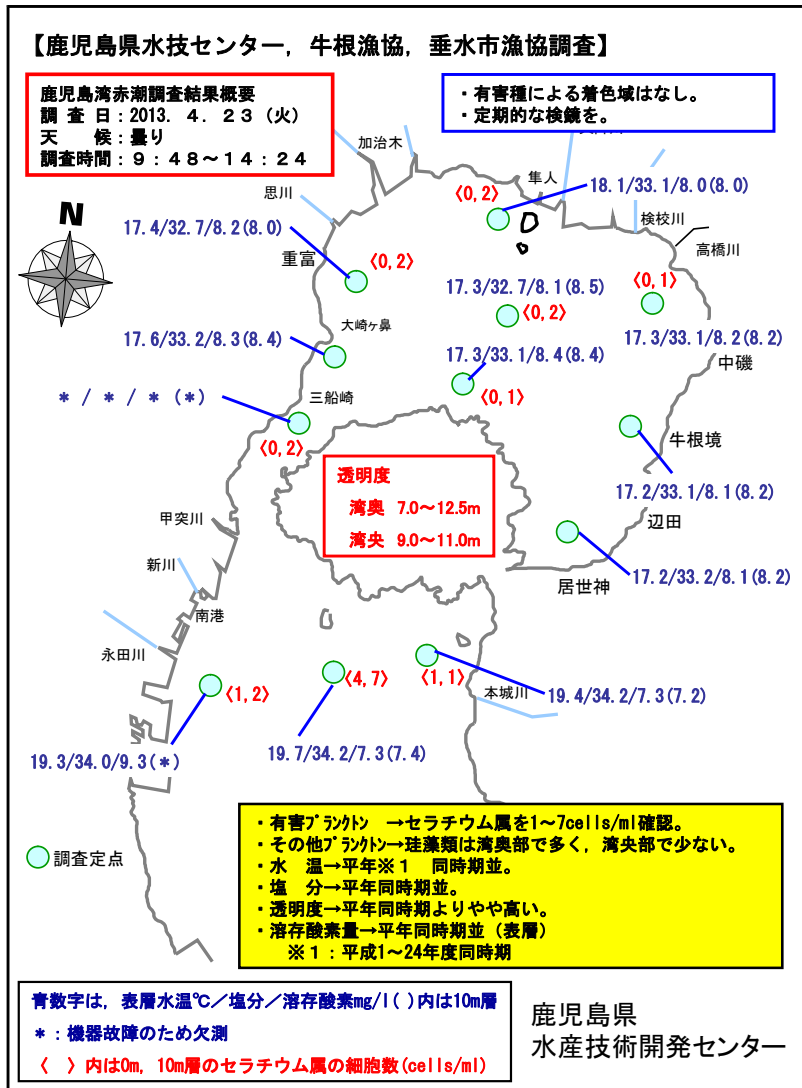
(2) 海況

表層水温は湾中央部で19.3~19.7℃、湾奥部で17.2~18.1℃と平年同時期並み。塩分は32.7~34.2と平年同時期並み、透明度は7.0~12.5mで平年同時期よりもやや高くなっています。

水温：平均	18.0℃	湾奥部	17.4℃	湾中央部	19.5℃
塩分：平均	33.3	湾奥部	33.0	湾中央部	34.1
透明度：平均	9.2m	湾奥部	8.9m	湾中央部	10.0m

(平年値は平成1~24年の4月平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想



鹿児島湾は、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っています。23日の調査では、有害種はセラチム属が少数確認されたのみで、着色域は確認されず、また珪藻類は湾奥部が多い状況でしたが、今後の状況変化によっては有害種が増殖する可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行い、有害プランクトンの有無など漁場環境の把握に努めて下さい。
 (次回調査は5月上旬を予定)

赤潮情報(携帯用) : <http://kago-shima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用) : <http://kago-shima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>